

まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.79 令和4年9月12日発行

ふくしまインフラツーリズム

第1回モニターツアー

福島県では、本年度当初予算の重点事業として「ふくしまインフラツーリズム推進事業」をスタートしました。

今年度は福島市西部地域を中心として、モニターツアーを3回実施し、モデルコースの造成とポータルサイトの立ち上げを計画しています。

今回は、土木遺産である荒川砂防堰堤や十綱橋などを巡る第1回目のモニターツアーを実施しました。

【実施日】

令和4年8月27日（土）～28日（日）

【場 所】

福島市西部地域

【内 容】

一日目は、荒川周辺の見所の紹介や歴史を学び、午後は、フルーツ狩りを交え飯坂温泉街を十綱橋から旧堀切邸まで散策し、

二日目はカヤック（カヌー）体験の後、通常では立入が出来ないダム^①の監査廊を歩き、ダムの下から堤体を眺めてスケールの大きさを実感していただきました。

モニターツアーでは施設見学や体験、日程、費用等についてアンケートを行い、その結果をもとに分析して、今後の事業の取組に役立てます。

【参加者】

県内外の幼児（3歳）から50代までの10名（内お子様3名）

（男性3名、女性7名）

（県のホームページ、JTBのメルマガにより募集しました。）



- 調査箇所**
- 凡例**
- 自動車専用道路
 - 一般国道
 - 主要地方道
 - 一般県道
 - 広域農道

旅程表

**8/27
(土)**

10:00	福島駅	10:20	① 荒川土木遺産	12:20	12:30	四季の里 (昼食)	13:45	14:10	② フルーツ狩り	14:50
			★地蔵原堰堤 ★荒川第1堰堤			★水力発電施設・園内見学				
		15:10	③ 飯坂温泉まちあるき	16:10	16:30	奥飯坂 (穴原) 温泉 (泊)				
			★十綱橋(土木遺産)・旧堀切邸などを散策							

**8/29
(日)**

		8:30	奥飯坂 (穴原) 温泉 (泊)	9:00	④, ⑤ 摺上川ダム	12:00	12:30	⑥ 道の駅ふくしま	13:40	14:00	福島駅
					★茂庭っ湖カヤック体験 摺上川ダム探検 【ダムカードプレゼント】			★各自昼食と買い物 【ポケモンマンホール「ポケふた」探し】			

凡例：— 貸切バス 観光施設：◎入場観光、○下車観光、△車窓観光

①荒川土木遺産（旧霞堤を含む）

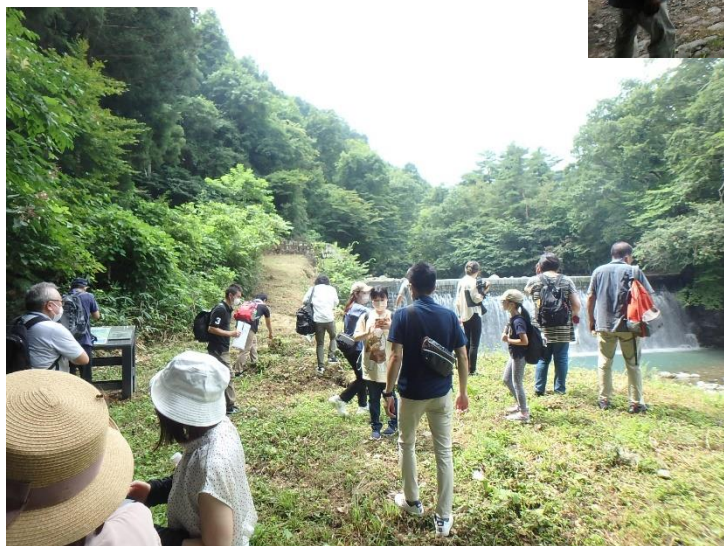
荒川は、奥羽山脈が水源。丘陵地、小河川と合流しながら福島市街地の南側で阿武隈川に合流します。この間、流域には35基の砂防堰堤が築造されています。古くは明治33年に福島県が事業に着手し、昭和11年からは荒川第1砂防堰堤の国による整備が始まりました。

歴史的な建造物は、有形文化財・選奨土木遺産に多く指定されています。このように土木遺産が多い荒川は市民が交流する場でもあります。荒川を周遊できる散策路と土木施設への案内板も整備されています。



◀「エール」のロケ地から旧霞堤まで散策しました。

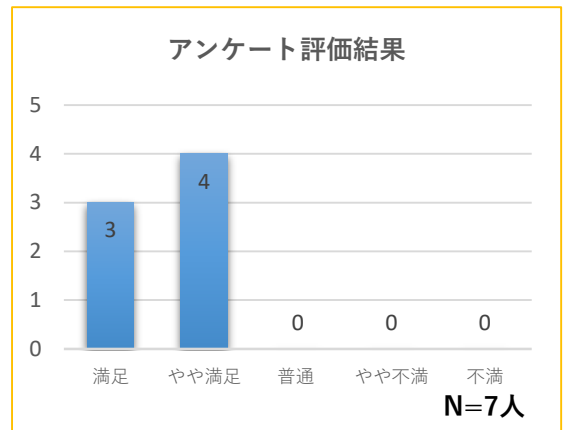
▶地蔵原堰堤で着工までの歴史などを学びました。



◀荒川第1砂防堰堤では、建設当時使用していたトロッコも残っていました。

🏠 アンケート結果 🏠

- ・ 自然の中を歩くことや、昔の建造物等を見るのが好き。
- ・ エールのロケ地を見られたこと、景色も美しく歴史的な解説もしていただけ良かったです。
- ・ 溪流沿いをもう少し歩きたかった。
- ・ 地元にも知らない事がたくさんで新しい発見でした。ただ説明は多くて暑い中数カ所回ったので少し疲れました。



② フルーツ狩り（まるせい果樹園）

農業生産法人（有）まるせい果樹園で桃狩りを楽しみました。

まるせい果樹園は東京ドーム2個分の約9haの広さに、さくらんぼ、桃、なし、ぶどう、りんごなど多くの品種が栽培されており、6月～12月までフルーツ狩りが楽しめます。

今回の桃狩りでは、「川中島白桃」という品種を食べました。小さなお子さんに聞いたら、桃を「3個食べた」と教えてくれました。



◀脚立に登って高い所から、甘そうな桃を探して収穫しました。

▶もぎたての桃を頬張る家族。



③飯坂温泉まちあるき（十綱橋～旧堀切邸）

十綱橋（とつなはし）は、1915年に完成したわが国最古級の鋼アーチ橋で、2004年には土木遺産に選定され、さらに、2020年には国登録有形文化財になりました。

旧堀切邸は、江戸時代から続いていた豪農・豪商の旧家を補修、復原、一部新築により整備し、飯坂温泉の観光交流拠点として平成22年5月に開館しました。



◀十綱橋を見渡しながら、現在の3代目までの十綱橋の歴史を学びました。



▲波来湯での様子



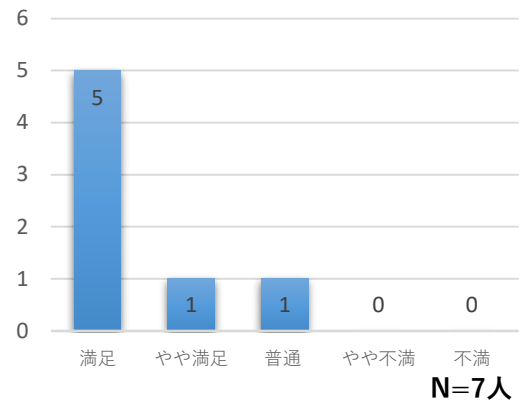
▲鯖湖湯での様子

▶旧堀切邸を見学している様子



アンケート結果

- ・ 温泉街の歴史や概要、逸話等を知れた。
- ・ 飯坂温泉の歴史を感じられ、建物や共同浴場や足湯が何処にあり、ゆっくり来たいと思った。
- ・ 堀切邸散策楽しかった。
- ・ 主要な場所をまわったのでよかった。フリーで探索してもおもしろいと思った。



④茂庭っ湖（カヤック体験）

「いいざかサポーターズクラブ」は、福島市北部にある飯坂温泉で、観光に訪れる方々がもっと楽しく笑顔で過ごしていただけるよう、色んなアクティビティ体験を行っています。

小雨の中でしたが、いいざかサポーターズクラブの皆さんの協力のもと、湖面をスムーズに楽しく移動出来ました。



◀パドルを使ってカヤックの操縦の練習をしました。

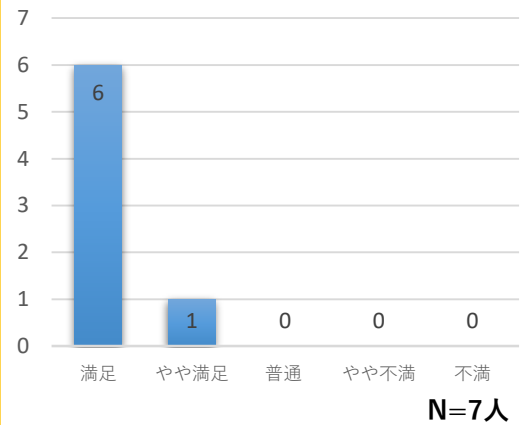
▶カヤックを操り湖面に出てダム湖を満喫しました



📄 アンケート結果 📄

- ・カヤックの操作が想定より容易で、自然の中でアクティビティを楽しめた。
- ・初めてのカヤックでしたが、丁寧な指導のおかげですごく楽しめました。
- ・体験してみたかったので満足です。またやりたい
- ・ちょっと体験って思っていたので結構遠くまで行けて楽しかった。
- ・衣服が濡れるのっ、着替えが必要な事を事前に教えて頂きたい。

アンケート評価結果



⑤ 摺上川ダム探検（監査廊）

摺上川ダムは、福島市飯坂町茂庭地内に建設された多目的ダムです。摺上川ダムは、集水面積160km²、総貯水容量1億5,300万m³を有するダム高105mの中央コア型ロックフィルダムです。

このダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水補給、水道用水供給、工業用水確保、加えて水力発電と多くの役割を担っています。



◀ 摺上川ダム管理所の方からダムの概要や目的などの説明を受けました。

▶ 監査廊を移動してダムの下へ出ました。





◀下から見上げるダムは大きかったです。

▶ダムカードを片手にハイポーズ。

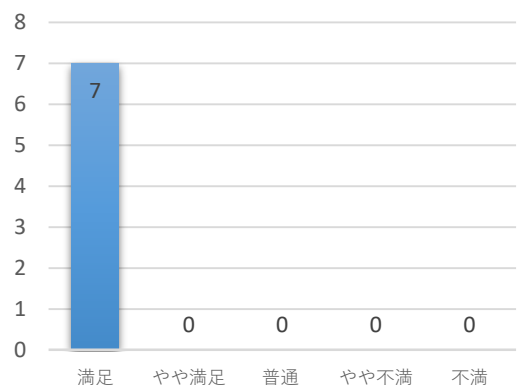


◀今回は途中までエレベーターで移動しましたが、ダムの最深部へはこのような階段が何カ所か続きます。

📄 アンケート結果 📄

- 普段入れないダム施設に入れ、いろいろな情報を学べた。
- ダムの仕組みについて勉強になっただけではなくカヤックのあとに見学できたからこそ施設全体像もわかって楽しめた。
- 普段は入れないダムの下を見学できた。
- ダムの裏側というか、滅多に見られない中を見ることができて感動しています。ダムの管理の大変さや裏側を知れて、すごく勉強になりました。

アンケート評価結果



N=7人

⑥道の駅ふくしま（「ポケふた」探し）

道の駅ふくしまは、東北中央自動車道「福島大笹生IC」隣接地に、2022年4月にオープンした道の駅です。

吾妻連峰を見渡す最高のロケーションに位置し、ここでしか味わえない地元のグルメや産品が豊富にそろい、「屋内子ども遊び場」や、「ドッグラン」を備え、大人も子どもも、愛犬も楽しめる道の駅です。

また、防災倉庫や耐震性貯水槽、太陽光発電を完備しており、バイオマス発電による電力を使用するなど、防災面を意識した環境にも優しい道の駅です。

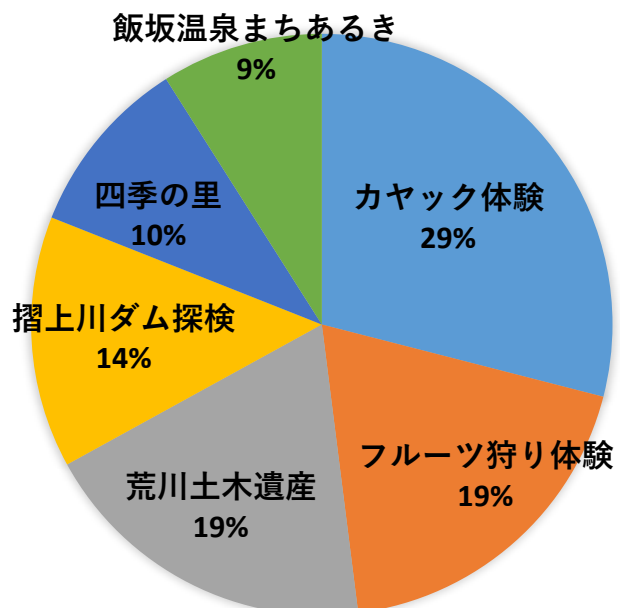
ここでは、参加者が各自昼食を取って、「ポケふた」を探して記念撮影したり、お土産品を買うなどして集合時間までゆっくり過ごしていました。



▲「ポケふた」ラッキーとモルペコ

※インフラコンテンツ満足度

“アクティビティ要素”としての
カヤック“福島らしさ”の出るフルーツ狩り体験、“特別感のある”
インフラコンテンツに魅力を感じ、満足度が高い傾向にありました。



📧 編集後記 📧

今回のモニターツアーでは、土木遺産の歴史や造られた目的など、インフラ施設を観光資源として、様々な年齢層でも楽しめたツアーになりました。

また、アンケート結果からインフラ施設を見るだけではなく、ここでしかできない体験をすることが重要だと分かりました。引き続き、県内におけるインフラ施設を観光資源として活用し、インフラツーリズムの推進に取り組んでまいります。

土木部メールマガジン登録随時受付中!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、下記により登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ（ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html> ）からご覧いただけます。

メールマガジン（無料）の配信をご希望される方は



【土木部メルマガ希望または、解除】
をお書きのうえ下記アドレスまで
メール送信してください。

doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp

土木企画課（システム担当） 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>